

## 令和6年度 こども広場あんり保護者アンケート集計結果

園児数230人 提出数212人 回収率%92.1

※項目について Aそう思う Bやや思う Cあまり思わない Dまったく思わない (人数)

内 容	A	B	C	D
Q、お子さんは園に行くのを楽しみにしていますか？	146	59	7	0
Q、あんりでは「丈夫なからだ・おもいやりの心・やる気のある子」を園目標、「よりよい環境の中で、かかわり合いを持ち共に育つ」を重点目標として保育を行っていますが、園目標が生かされていると思われませんか？	144	64	4	
Q、集団の中で一人ひとりを把握し、家庭と連絡を密に取り合いながら、保育活動が進められていると思われませんか。	129	71	9	3
Q、基本的な生活習慣や各学年・年齢で活発な保育活動が展開され、集団でのマナーが身についていると感じられますか。	151	52	7	2
Q、お子さんは保育者（先生）を信頼していると感じられますか。	174	31	6	1
Q、園の職員は、お子さんについての悩みや心配事を安心して話せる存在ですか？	159	45	5	3
Q、園の食育への取り組み（栽培、クッキング、食事時のマナーを知る等）に満足していますか？	160	50	2	0

### ※ 長時間保育について(預かり保育利用児・2・3号認定児のみ)

Q、担任以外の保育者にも安心して預けていますか。	124	38	2	0
Q、担任から長時間保育担当の保育者に、お子さんについての連絡等の引き継ぎができていると思われませんか。	98	63	3	0

### ※市内の幼保園、こども園共通のアンケート項目

<p>&lt;保護者に対して&gt;</p> <p>(1)「我が子が通っている園の、園運営全般に対して満足していますか。」</p> <p>・A「そう思う」147人 ・B「やや思う」54人 ・C「あまり思わない」11人 ・未記入0人</p> <p>(2)「園で実施している保育参加や子育てトーク、家庭通信や職員との対話などは、子育て支援につながっていると感じますか。」</p> <p>・A「そう思う」150人 ・B「やや思う」52人 ・C「あまり思わない」8人 ・未記入2人</p>
--

## ○保護者アンケート記述より

- ・子どもが園へ行くのを楽しみにしている。毎日「行きたい」と思える園。
- ・園児がのびのび遊んでいる。安心して過ごせている。
- ・園生活で成長している。
- ・園の出来事を楽しそうに話してくれる。
- ・子どもたちに自然に触れる機会をたくさんあり、様々な経験・体験をさせてくれる。
- ・自主性が身についていると感じる。
- ・園での子どもの様子が見ることができると感じる。
- ・園全体が明るく、信頼して安心して預けられている。
- ・子どものやりたいことを尊重して伸ばしてくれている。やりたいことをやらせてくれる先生がいて、本当にありがたく思っている。
- ・色々な体験をさせてくれる。
- ・子どものことを観察し、子どもが過ごしやすいように工夫している。
- ・子どもの気持ちに寄り添って保育をしてくれている。
- ・先生方一人一人園児と向き合い楽しい園生活を送れるように考えてくれているのが保護者から見えて安心できる。
- ・園で良いこと、悪いことをしっかりと伝えてくれる。
- ・異年齢での関わりを積極的にしてくれている。
- ・子供一人一人の体調や気分により、臨機応変に対応してくれている。
- ・育児の悩みなど、アドバイスを、話を聞いて下さるのでとても心強い。
- ・担任の先生だけでなく、担任以外の先生も報連相が密にされていると感じる。
- ・季節を感じられる活動をさせてくれる。家庭でできないことを園で経験できている。
- ・先生が子供に対しての対応がとても丁寧で、子どもに合った対応をしてくれている。
- ・園生活の出来事や子どもたちの成長過程を報告してくれるので、家でも同じように進められる。
- ・色々なことにスピード感を持って対応してくれる。
- ・連携が取れている。
- ・先生の挨拶や対応がいい。
- ・園のことだけでなく、子どもの園生活を鑑みて、家庭内で必要なフォローに対する助言などしてくれて、非常に助かっている。

## ○こども広場あんりの運営に関する保護者からの質問・意見についての Q&A

- Q. 年少組の面談はないのか。送迎時間は話すタイミングが合わないと話ができない。親としてはどんな様子かもう少し知りたいと思う。
- A. 年間で年長児のみ面談の日程を組んでいます。他の学年について面談の日は設けていませんが、必要に応じていつでも面談の対応をいたします。日程調整をしますので、気軽にお声掛けください。
- Q・感染症など全体でどのくらい流行っているか教えていただけると安心できる。
- A. 園全体の活動記録からクラスの活動記録へ変わったことで、園で感染症が広まったときのみの配信でした。今後感染症の情報について、クラスの活動記録より感染症について載せさせていただきます。園全体で感染症が広まっている場合は、今まで同様に園のメールからお知らせしていきます。

Q. 正面駐車場に駐車できる時間帯が決められているのが不便。16時以降正面の駐車場を開放してほしい。

出入口門の施錠が必要なのは分かりますが、雨の日など傘をさしながら行うのが大変。

A. 園児が戸外で遊んでいる時間帯、また、保護者の送迎の多い時間帯を考慮し、園児の抜け出し防止や飛び出し防止、不審者対策のため、二重施錠をしています。ご不便をおかけしておりますが、引き続き安全確保の為に協力をお願い致します。

現在も雨の強い時の門の開放やお子様やご家族の体調不良など必要に応じて、正面駐車場通用門を開けて入って頂いております。必要に応じて正面駐車場へ駐車のご対応させていただきますのでご相談ください。

Q. 怪我のトラブルがあった時に、「他の仕事をしていて見ていなかった。」ということを知り、もう少し責任をもって預かってほしい。クラスが3クラスから2クラスになり、一人ひとり見ることができていないような気がする。

A. 怪我やトラブル等について大変ご迷惑をおかけいたしました。保育の時間帯によっては、担任以外の職員が保育をしていることもありますが、常に職員の連携や引継ぎを大切にしています。しかし、職員の対応や多人数クラスについてご心配をおかけ致しまして申し訳ありませんでした。

来年度から5歳児クラスは3クラスの体制で保育をします。就学に向けて丁寧に保育を行い、今後とも安心安全な保育に努めて参ります。

Q. ボランティア活動にみんな参加しているのか不明瞭。

A. 日ごろよりボランティア活動にご協力頂きありがとうございます。

今年度からボランティア活動の日を設定させていただき、大勢の方にご参加いただきました。初めての試みでしたが、6割程の方にご参加いただきました。保護者の皆さまの温かさを感じ職員一同とても感謝しております。来年度も引き続きボランティア活動の計画をお知らせしていきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

たくさんの方の心温まるお言葉を頂けて感謝いたします。ありがとうございます。  
皆様の貴重なご意見・ご要望を大切に受け止めて改善に努め、また、嬉しいお言葉を励みにしながら、より良い園を目指してまいります。  
お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

氏名 \_\_\_\_\_

## 令和6年度 自己点検・自己目標表

	自己目標	目標設定の理由
保育に関する 目 標	<input type="radio"/>  <input type="radio"/>	
職場の一員 としての目標	<input type="radio"/>  <input type="radio"/>	

※目標は、人や仕事を管理するものではありません。モチベーションを高く仕事に取り組むためのものです。

\* 目標についての自己評価

※今年度の自己目標の達成度は … A ・ B ・ C ・ D (○を付ける)

A … 17%

B … 52%

C … 26%

D … 5%

# 令和 6年度 自己評価

こども広場あんり

	評価項目	目標設定の理由	取り組み状況	結果 ( % )			
				A	B	C	D
1	乳幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境の構成をする	乳幼児の成長にとり、実体験が大切である。その体験が豊かになるためには、乳幼児が見たい・知りたい・やりたいと思える環境構成が必要である。自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境を整える。	・子どものつぶやきや発見から興味が広がるように声掛けをし、子どもの成長や遊びの様子から環境を見直し整えていけるようにしていった。しかし、環境を整える時間の確保が難しかったため、こまめに行うことができなかった。	2	18	8	1
2	3歳以上児 指導計画は、マンネリ化しないように見直しを行い、幼児の状況の変化に対応する。	遊びを通しての総合的な計画を立てる。長いスパンで繰り広げられる保育を展開する中で、乳幼児の実態を見て、状況にあった充実した保育の展開をしていきたい。	・子どもたちと一緒に考え様子に合わせた計画を立てたり、何を学んでほしいかのねらいを持って活動を行ったり主体性の保育を意識して様々な経験と学びが出来た。 ・話し合いの場が十分に確保できず、指導計画の内容が薄いと感じる。	1	15	13	0
	3歳未満児 個別計画が適切に立てられているか。						
3	保育の流れや乳幼児のことなど、常に保育者同士話し合い、情報の共有をする。	乳幼児の姿は一人ひとり異なる。また、乳幼児の見せる姿やそのとらえ方は、保育教諭により異なる。保育教諭間意見を交換し、多面的に幼児を捉えることが必要である。	・保育教諭同士で話をすることを大切に実践してきた。それぞれ保育教諭の考え方が多様で、子どもの見方を多面的に考えることができ共有できた。	12	13	4	0
4	各自が保育教諭としての良識を大切にして、能力を高めるよう努める	保育教諭としてふさわしい態度を身に付けると共に、専門的知識を得る機会に積極的に参加することにより、社会人としてレベルアップを図りたい。	・疑問に思ったことはすぐに調べ勉強し、保育につなげていった。 ・研修に参加することで、他園の環境について学んだり、情報・意見交換をしたりすることで、新しい発見や考えを見つける事ができた。 ・研修で知識を身に付けることができ、学んだことを保育の現場で活かしている。	1	15	8	5
5	地域や社会とのかかわり	認定こども園に求められる社会的ニーズの変化に対応し、地域に根ざす園づくりについて考えていきたい。	・野菜の栽培を通して地域の方と交流することができた。 ・地域の方々や挨拶をかわし、関わる事ができたと感じている。	3	11	12	3
6	保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切に対応できる体制をつくる。	乳幼児の育ちの背景にある家庭の姿に迫るためには、さらに保護者との緊密な連携が必要となる。保護者の思いを受け止める体制をつくと共に、乳幼児のより良い育ちに向けて、共に学ぶ姿勢づくりを考える。	・乳児組は保護者と懇談会を行ったことで、普段聞けない保護者の思いを聞くことができた。 ・家庭環境を考えながら子どもの思い、保護者の思いを考えて対応するように心掛けた。困った時には、周りの職員に相談し対応した。 ・毎日配信の活動記録で園の様子は伝わりやすくなったが、連絡ノートがWEBからとなり、業務負担は減ったが、保護者と連絡を取る難しさがある。	7	16	6	0
7	あんり職員としての意識を持つ	子どもたちに良い保育環境を与えるためには、保育者間の関係性が重要である。社会人として同じ職場で働	・職員同士で連携をとり、お互いの意見を尊重しながら、保育を考えていくことを心掛けている。	7	13	9	9

	のルック職員としての意識を持つ	同僚との関係性が重要である。社外人として同じ職場で働く者として、自分の役割や心掛けたいことを考える。		1	10	2	2
--	-----------------	--	--	---	----	---	---

\* 結果の表示方法 A…十分達成されている B…達成されている C…取り組まれているが、成果は十分でない D…取り組みが不十分である